平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年11月8日

上場会社名　株式会社 タツミ　　上場取引所　大
コード番号　7268　URL　http://www.tatsumi-ta.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 山本　千秋
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長　(氏名) 木村　英典　TEL 0284-71-3131
四半期報告書提出予定日　平成22年11月10日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　無
四半期決算説明会開催の有無　:　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	2,819	36.6	113	—	105	—	91	—
22年3月期第2四半期	2,064	△39.2	△56	—	△46	—	△47	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	15.24	—
22年3月期第2四半期	△7.84	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	5,312	2,486	46.8	414.48
22年3月期	5,210	2,392	45.9	398.91

(参考) 自己資本　23年3月期第2四半期 2,486百万円　22年3月期 2,392百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期	—	0.00			
23年3月期(予想)			—	3.00	3.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無　無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,400	11.2	160	100.0	150	63.0	135	3.8	22.51

(注)当四半期における業績予想の修正有無　有

4. その他　（詳細は、【添付資料】「2. その他の情報」（3ページ）をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　有

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更　有

② ①以外の変更　無

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期2Q	6,000,000株	22年3月期	6,000,000株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	1,787株	22年3月期	1,787株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期2Q	5,998,213株	22年3月期2Q	5,998,213株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。
この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、「1. 当四半期の業績等に関する定性的情報」の「(3)業績予想に関する定性的情報」（3ページ）をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期の業績等に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．その他の情報 …… 3
（１）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 3
（２）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 3
３．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
［四半期製造原価明細書］ …… 7
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
４．その他投資者が四半期決算情報を適切に理解・判断するために有用な事項 …… 9
生産、受注及び販売の状況 …… 9

１．当四半期の業績等に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第２四半期累計期間における我が国の経済は、急激な円高の進行と継続的なデフレにより、引続き国内企業の収益環境は厳しい状況で推移しておりますが、アジアを中心とした輸出の増加や政府の経済対策効果により景気の回復傾向が見られました。

自動車業界におきましても当該期間は、政府の限定的な緊急経済対策の効果により堅調に推移いたしました。

この様な状況のなかで、当社は、来年度からスタートする新中期経営計画を踏まえ、緊急事態対応で身につけたコスト意識を更に醸成し、下記のような切り口で革新的原価低減を継続して進めております。

・売上げに見合った筋肉質な身体作り（固定費）
・痛んだ財務の復活（利益剰余金）
・生産の仕組の進化による革命的在庫削減（キャッシュ）
・技術、物造りの発信基地としての基盤整備（人造り）

この結果、当社の売上高は、前年同期比755百万円増収の2,819百万円（前年同期比36.6%増）となりました。

一方、利益面におきましては、増収効果により営業利益は、前年同期比169百万円増益の113百万円、経常利益は、前年同期比151百万円増益の105百万円、当四半期純利益は前年同期比138百万円増益の91百万円となりました。

部門別の売上高状況は、次のとおりであります。

電装品用部品が前年同期比364百万円増収（34.5%増）の1,419百万円、ブレーキ用部品が前年同期比322百万円増収（33.6%増）の1,283百万円、応用その他の部品が前年同期比68百万円増収（141.7%増）の116百万円となっております。

（２）財政状態に関する定性的情報

（財政状態の変動状況）

当第２四半期会計期間末における総資産は、現金及び預金等の増加により前事業年度末に比べ101百万円増加の5,312百万円となりました。

有利子負債は、借入金の返済により前事業年度末に比べ239百万円減少の1,132百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加により前事業年度末に比べ93百万円増加の2,486百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前事業年度末に比べ0.9%増加の46.8%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第２四半期会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は、前事業年度末に比べ97百万円増加（26.8%増）の462百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期累計期間において、営業活動の結果得られた資金は、前年同期比365百万円増加の379百万円となりました。

これは主に、税引前四半期純利益及び未払金の増加によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期累計期間において、投資活動の結果支出した資金は、前年同期比99百万円減少(70.1%減)の42百万円となりました。

これは主に、有形固定資産の取得抑制によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期累計期間において、財務活動の結果支出した資金は、前年同期比89百万円増加(59.1%増)の239百万円となりました。

これは主に、短期借入金の返済によるものであります。

（３）業績予想に関する定性的情報

当社を取り巻く事業環境は、円高、デフレなどによる懸念材料や自動車経済対策の一部終了によるマイナス要因のほか、政治の先行き不透明さなどの要因も重なって、引続き厳しい状況が続くことが予測されます。

このような状況のなかで、当社は、業績の向上と新規品の受注獲得のためと全社一丸となってコスト競争力強化に傾注してまいります。

通期の業績予想数値は、本日、別途開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおりであります。

なお、平成22年5月7日の決算短信（非連結）で発表しました通期業績予想との差異は下記の通りです。

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想　（Ａ）	5,000	120	108	60	10　00
今回修正予想　（Ｂ）	5,400	160	150	135	22　51
増 減 額　（Ｂ－Ａ）	400	40	42	75	―　―
増　減　率	8.0%	33.3%	38.9%	125.0%	―　―
参考（平成22年3月期）	4,854	80	92	130	21　67

２．その他の情報

（１）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

１．たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについて正味売却額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

２．固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

３．税金費用の計算

税金費用に関しては、当第２四半期累計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実行税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（注）税金費用については、四半期特有の会計処理を適用していますが、繰越欠損金があるため、均等割額のみを計上しております。

（２）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

（資産除去債務に関する会計基準の適用）

当第１四半期会計期間より「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年３月31日）を適用しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

（セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用）

当第１四半期会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号平成21年３月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号平成20年３月21日）を適用しております。

３．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	当第２四半期会計期間末 （平成22年９月30日）	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 （平成22年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	462,647	364,768
受取手形及び売掛金	1,297,185	1,258,301
商品及び製品	102,167	121,613
仕掛品	215,591	207,573
原材料及び貯蔵品	161,041	153,490
前払費用	2,541	4,832
繰延税金資産	87,651	87,651
未収入金	423,862	375,808
その他	12,269	2,260
貸倒引当金	△1,500	△1,400
流動資産合計	2,763,458	2,574,899
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,069,835	2,072,880
減価償却累計額	△1,460,235	△1,432,597
建物（純額）	609,599	640,282
構築物	153,176	153,176
減価償却累計額	△111,613	△108,991
構築物（純額）	41,563	44,184
機械及び装置	3,559,165	3,527,056
減価償却累計額	△2,896,625	△2,845,887
機械及び装置（純額）	662,540	681,168
車両運搬具	17,309	17,309
減価償却累計額	△16,366	△16,100
車両運搬具（純額）	942	1,208
工具、器具及び備品	427,016	435,206
減価償却累計額	△365,577	△357,131
工具、器具及び備品（純額）	61,439	78,074
土地	40,361	40,361
建設仮勘定	22,750	4,558
有形固定資産合計	1,439,197	1,489,838
無形固定資産		
借地権	4,892	4,892
ソフトウエア	297	556
その他	847	847
無形固定資産合計	6,037	6,296

（単位：千円）

	当第２四半期会計期間末 （平成22年９月30日）	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 （平成22年３月31日）
投資その他の資産		
投資有価証券	114,224	110,827
関係会社株式	653,063	653,063
出資金	303	303
前払年金資産	294,447	321,486
長期前払費用	1,529	2,140
その他	39,745	51,480
投資その他の資産合計	1,103,312	1,139,301
固定資産合計	2,548,547	2,635,436
資産合計	5,312,005	5,210,336
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	237,719	204,248
短期借入金	655,204	825,244
未払金及び未払費用	1,170,098	971,610
未払法人税等	5,812	8,361
賞与引当金	159,190	110,259
資産除去債務	153	－
その他	4,036	5,630
流動負債合計	2,232,215	2,125,354
固定負債		
長期借入金	477,460	546,922
繰延税金負債	116,219	114,901
役員退職慰労引当金	－	30,426
固定負債合計	593,679	692,250
負債合計	2,825,894	2,817,604
純資産の部		
株主資本		
資本金	715,000	715,000
資本剰余金	677,955	677,955
利益剰余金	1,079,694	988,256
自己株式	△567	△567
株主資本合計	2,472,081	2,380,643
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	14,029	12,088
評価・換算差額等合計	14,029	12,088
純資産合計	2,486,111	2,392,732
負債純資産合計	5,312,005	5,210,336

（２）四半期損益計算書
（第２四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）
売上高	2,064,366	2,819,664
売上原価	1,944,275	2,508,386
売上総利益	120,091	311,278
販売費及び一般管理費	176,312	197,608
営業利益又は営業損失（△）	△56,220	113,669
営業外収益		
受取利息	72	68
受取配当金	304	1,198
受取イニシャルフィ	6,000	1,000
製造提携先機械等売却益	2,110	4,394
助成金収入	16,596	3,942
その他	5,704	9,760
営業外収益合計	30,787	20,364
営業外費用		
支払利息	13,546	9,242
為替差損	7,111	17,884
雑損失	106	1,816
その他	－	2
営業外費用合計	20,765	28,945
経常利益又は経常損失（△）	△46,198	105,088
特別利益		
固定資産売却益	17	－
特別利益合計	17	－
特別損失		
固定資産売却損	－	262
固定資産除却損	120	3,608
減損損失	－	1,037
特別退職金	－	6,684
その他	755	204
特別損失合計	875	11,795
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	△47,055	93,293
法人税等	－	1,854
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△47,055	91,438

［四半期製造原価明細書］

（第２四半期累計期間）

	当第２四半期累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）		
区分	金額（千円）		構成比 （%）
Ⅰ　材料費		926,226	36.8
Ⅱ　労務費		730,744	29.0
Ⅲ　経費			
外注加工費	413,618		
減価償却費	151,236		
その他	295,408	860,262	34.2
当期総製造費用		2,517,233	100.0
期首仕掛品たな卸高		207,573	
合計		2,724,807	
他勘定へ振替高		18,707	
期末仕掛品たな卸高		215,591	
当期製品製造原価		2,490,508	

（注）四半期製造原価明細書は、当第１四半期累計期間から開示の対象としております。

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	△47,055	93,293
減価償却費	193,982	155,323
有形固定資産除却損	120	3,608
減損損失	－	1,037
特別退職金の支払額	－	6,684
貸倒引当金の増減額（△は減少）	100	100
賞与引当金の増減額（△は減少）	－	48,931
前払年金資産の増減額（△は増加）	28,019	27,038
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△5,330	△30,426
受取利息及び受取配当金	△376	△1,142
支払利息	13,546	9,242
有形固定資産売却損益（△は益）	△17	262
売上債権の増減額（△は増加）	△163,379	△38,883
たな卸資産の増減額（△は増加）	30,952	3,876
その他の流動資産の増減額（△は増加）	28,853	△54,909
仕入債務の増減額（△は減少）	101,362	33,470
未払金の増減額（△は減少）	△160,258	152,711
その他の流動負債の増減額（△は減少）	2,797	△16,991
小計	23,316	393,227
利息及び配当金の受取額	353	1,101
利息の支払額	△13,443	△8,893
法人税等の支払額	4,220	△5,575
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,446	379,860
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△146,846	△54,229
有形固定資産の売却による収入	6,573	150
投資有価証券の取得による支出	△60	△138
投資その他の資産の増減額（△は増加）	△1,287	11,928
投資活動によるキャッシュ・フロー	△141,620	△42,288
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△60,900	△150,000
長期借入れによる収入	－	
長期借入金の返済による支出	△89,502	△89,502
配当金の支払額	△273	△190
財務活動によるキャッシュ・フロー	△150,675	△239,692
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△277,849	97,878
現金及び現金同等物の期首残高	649,131	364,768
現金及び現金同等物の四半期末残高	371,282	462,647

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

４．その他投資者が四半期決算情報を適切に理解・判断するために有用な事項

［生産、受注及び販売の状況］

当社は、自動車用部品事業の単一のセグメントであるため、［生産、受注及び販売の状況］については、事業部門別に記載しております。

(1) 生産実績

事業部門	品目		当第２四半期累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	前年同期比（%）
輸送用機器関連事業	自動車用部品	視界確保(千円)	228,339	124.9
		利便快適(千円)	591,396	142.4
		コミュニケーション(千円)	68,341	143.5
		エンジン補機(千円)	170,729	119.2
		４輪ブレーキ(千円)	1,077,953	133.8
		２輪ブレーキ(千円)	196,281	135.6
		２輪汎用(千円)	347,694	125.6
		小計(千円)	2,680,737	132.9
	応用機器(千円)		119,481	250.0
合計(千円)			2,800,218	135.6

(注)金額は、販売価格に換算して表示しており、消費税等を含んでおりません。

(2)受注状況

事業部門	品目		受注高	前年同期比（%）	受注残高	前年同期比（%）
輸送用機器関連事業	自動車用部品	視界確保(千円)	229,333	116.0	39,167	93.5
		利便快適(千円)	598,424	131.4	104,361	108.9
		コミュニケーション(千円)	72,375	134.7	11,142	74.0
		エンジン補機(千円)	176,980	111.6	30,216	94.3
		４輪ブレーキ(千円)	1,098,298	123.3	188,405	103.8
		２輪ブレーキ(千円)	198,664	117.6	37,783	105.8
		２輪汎用(千円)	361,780	121.8	59,587	106.4
		小計(千円)	2,735,856	123.1	470,664	102.8
	応用機器(千円)		123,383	256.8	21,568	199.6
合計(千円)			2,859,239	125.9	492,233	105.0

(注)1.受注残高は、翌月(1か月)分の確定金額であります。
2.金額は、販売価格に換算して表示しており、消費税等を含んでおりません。

(3)販売実績

事業部門	品目		当第２四半期累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	前年同期比（%）
輸送用機器関連事業	自動車用部品	視界確保(千円)	227,562	126.9
		利便快適(千円)	595,712	143.6
		コミュニケーション(千円)	70,554	155.9
		エンジン補機(千円)	172,741	122.7
		４輪ブレーキ(千円)	1,089,528	134.4
		２輪ブレーキ(千円)	194,145	129.2
		２輪汎用(千円)	352,925	128.4
		小計(千円)	2,703,169	134.1
	応用機器(千円)		116,494	241.7
合計(千円)			2,819,664	136.6

(注)1.主な相手先別の販売実績及び総販売実績に対する割合は次のとおりです。

相手先	前第２四半期累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年９月30日）	割合 (%)	当第２四半期累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	割合 (%)
㈱ミツバ（千円）	917,919	44.5	1,215,201	43.1
曙ブレーキ工業㈱（千円）	392,979	19.0	610,454	21.6
日信工業㈱（千円）	461,663	22.4	537,804	19.1

2.上記の金額には、消費税等を含んでおりません。